

平成23年12月5日

保護者様

宇都宮市立清原東小学校長 佐々木 徳志

緊急時（大地震発生時等）の児童の下校について

初冬の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、表記のことについて、宇都宮市教育委員会から大地震発生時の下校体制を裏面資料のとおり統一する旨の通知がありました。

つきましては、本校でも今後の緊急事態に備え、危機管理マニュアルを改訂し、大震災発生時の児童の下校を下記のとおりといたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 緊急時（大地震発生時）の下校体制

- 震度5強以上の地震が発生したとき、児童は学校待機とし、保護者の迎えにより下校させます。（※ 宇都宮市立小中学校での統一内容）
- 保護者の方は、学校まで児童を迎えにきてください。
- 連絡（通信）手段が使えることが予想されるため、学校からの連絡は行いません。

※ 震度5強の状況（気象庁震度階級関連解説表より抜粋）

- ・ 非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。
- ・ 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。
- ・ 耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり傾いたりする。
- ・ 自動車の運転が困難となり、停車する車が多い。

2 児童引渡しの方法

- ・ 児童のお迎えは原則として保護者の方をお願いします。
- ・ 仕事等の都合で緊急時の児童のお迎えが困難なご家庭もあると考えられますので、近所の保護者等にお迎えを依頼されても結構です。その場合は日頃からお迎えについての依頼を確実にしておいてください。
- ・ 学校では、下校の確認を確実にを行うために引き渡し名簿を作成しておりますので、お迎えに来た方は、必ず学級担任のチェックを受けてから児童を連れ帰っていただきますようお願いいたします。

3 震度5弱以下の地震発生時の下校について

- ・ 通学路の安全を確認した上で、集団下校となります。
- ※ 原則として、月・水曜日 ー 全学年一斉下校
火・木・金曜日 ー 学年下校

(大地震発生時の対応) 宇都宮市の統一内容について

震 度	学校の対応 (下校体制)	予想される状況 (気象庁震度階級関連解説表より抜粋)
震度 5 強 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒は学校待機とし、保護者の迎えにより下校させる。 ・ 学校施設等の安全状況を確認する。 	<p>【震度 5 強の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。 ・ 補強されていないブロックベいの多くが崩れる。 ・ 耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損し、傾くものがある。 ・ 自動車の運転が困難となり停車する車が多い。 ・ 家庭にガスを供給する導管、主要な水道管に被害が発生する。
震度 5 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則、集団または個別での下校とする。 <p>《児童生徒を下校させる際の留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通信号機の稼働状況、道路の損壊状況、河川の氾濫状況など、事前に通学路の安全確認を行う。 ・ 地域と連携を図りながら、下校時の巡回等を行う。 ・ 児童生徒が無事に帰宅できたかどうか可能な限り確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人には行動に支障を感じる。 ・ 補強されていないブロックベいが崩れることがある。 ・ 耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。 ・ 道路に被害が生じることがある。 ・ ガスが遮断される家庭がある。まれに水道管の被害が発生し、断水することがある。 ・ 軟弱な地盤で、亀裂が生じることがある。
震度 4 以下	(・学校の状況に応じて適切に対応する。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚の食器が音をたてる。 ・ 電線が大きくゆれる。

※ 気象庁では1996年10月1日に震度階級を改定し、「震度 5」を「震度 5 弱」「震度 5 強」に、「震度 6」を「震度 6 弱」「震度 6 強」とし、震度 0 から 7 までの 10 段階とした。